

第1学年1学期期末テスト

1年 組 番 名前

※解答は、すべて解答用紙に記入すること

1 次の計算をしなさい。【(1)～(8)各2点、(9)～(12)各3点】 技能

(1) $(-5) \times 3$

(2) $(-0.5) \times (-0.7)$

(3) $3 \times (-7) \times (-4)$

(4) $(-8) \times (-8)$

(5) $21 \div (-7)$

(6) $(-45) \div (-60)$

(7) $18 \div (-2) \div 5$

(8) $(-121) \div (+11)$

(9) $\left(-\frac{5}{6}\right) \div \frac{1}{2} \times \left(-\frac{1}{18}\right) \div \left(-\frac{1}{3}\right)$

(10) $(-3) \times 7 + (-84) \div (-2^2)$

(11) $9 + 6 \div (-3)$

(12) $\left(\frac{3}{4} + \frac{2}{9} - \frac{5}{12}\right) \times 72$

2 次の式を文字式の表し方にしたがって書きなさい。【各2点】 技能

(1) $a \times 6 - 30$

(2) $(a + b) \times 5$

(3) $a \times (-6) + b$

(4) $m \times 2 - n \div 3$

3 負の数を含む乗法のやり方について以下のように説明しました。(1)～(5)にあてはまる言葉や数を答えなさい。【各2点】 知識・理解

負の数を含む乗法の計算結果の符号は、式中の負の符号の個数によって決まります。

式中の負の符号の個数が、(1) のとき、計算結果の符号は+になります。

式中の負の符号の個数が、(2) のとき、計算結果の符号は-になります。

たとえば $(-5) \times 7 \times (-2) \times 9$ を例に説明すると、式中の負の符号は

(3) だから、計算結果の符号は+となり、 $+(5 \times 7 \times 2 \times 9)$ となる。

(4) を使うと $+(5 \times 2 \times 7 \times 9)$ と書き換えられるので、

計算結果は (5) となる。

4 次の(1)～(3)にあてはまる言葉や数を答えなさい。【各2点】 知識・理解

かっこがある式では、次の公式を使うと計算を簡単にできることがある。

$$(a+b) \times c = a \times c + b \times c$$

これを (1) と呼ぶ。

例えば、

$$\left(\frac{2}{3} - \frac{5}{6}\right) \times 12$$

という計算は (1) を使うと、

$$\frac{2}{3} \times \text{(2)} - \frac{5}{6} \times \text{(2)}$$

と書き換えられるので

計算結果は (3) となる。

- 5 次の(1)～(3)にあてはまる言葉や数を答えなさい。【各2点】 知識・理解

4^2 を4の (1)、 4^3 を4の (2) と読み、右上の小さい数2、3は、
かけあわず数4の個数を示したものである。

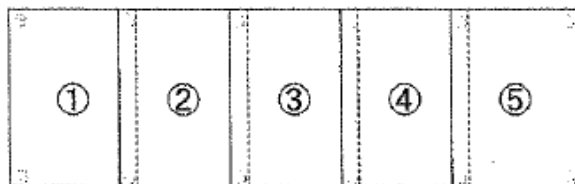
これを (3) という。

- 6 負の数を含む割り算を次のように説明しました。(1)～(3)にあてはまる言葉を答えなさい。【各2点】 知識・理解

負の数を含む割り算でも、わる数の (1) を使い、割り算を (2) に直して
計算することができます。

また割り算のことを (3) と呼びます。

- 7 下の図のように画用紙を重ねるようにして画びょうでとめます。以下の間に答えなさい。 見方・考え方



(1) 画用紙が28枚の時に必要な画びょうの個数を答えなさい。また、求め方も書きなさい。【答え2点、求め方3点】

(2) 画用紙が a 枚の時に必要な画びょうの個数を答えなさい。【3点】

- 8 $x=5$ 、 $y=-2$ のとき、次の式の値を求めなさい。【各2点】 見方・考え方

(1) $-x-5y+1$

(2) $5x+y$

- 9 右の表のア～オに数をあてはめて、たて、横、ななめ、それぞれの3つの数の和が等しくなるようにします。ア～オにあてはまる数を答えなさい。【各2点】 見方・考え方

ア	イ	1
ウ	エ	オ
3	-4	7

- 10 次の数の集合でいつでもできる計算に○をそうでない計算には△を書きなさい。ただし除法は0で割る場合を除く。【各1点】 見方・考え方

(1) 自然数の集合 () 足し算 () 引き算 () かけ算 () 割り算

(2) 整数の集合 () 足し算 () 引き算 () かけ算 () 割り算

- 11 家から公園まで分速70mで、 x 分間歩き、さらに、公園から学校まで分速90mで y 分間歩きました。このとき、次の式は何を表していますか。【各2点】 見方・考え方

(1) $x+y$ (分)

(2) $70x$ (m)

(3) $70x+90y$ (m)

数学 解答用紙

組 番 名前 解答

関・意・態	○			得点
考え方	☆	36		
技能	■	36		
知識・理解	△	28		

各2	(1)	-15	(2)	0.35	5 △	(1)	2乗
	(3)	84	(4)	64		(2)	3乗
1 ■	(5)	-3	(6)	$\frac{3}{4}$	各2	(3)	指数
	(7)	$-\frac{9}{5}$	(8)	-11		(1)	逆数
各3	(9)	$-\frac{5}{18}$	(10)	0	6 △	(2)	かけ算
	(11)	7	(12)	40		(3)	除法
2 ■ 各2	(1)	$6a-30$		7 ☆ 各3	(1) 答え	58個	
	(2)	$5(a+b)$			(1) 求め方	枚増えるごとに2個ずつ 画びょうは増える。最後端と とめるのに2個必要なので。 $2 \times 28 + 2 = 58$	
	(3)	$-6a+b$			(2)	$2a+2$ 個	
	(4)	$2m - \frac{n}{3}$					
3 △ 各2	(1)	偶数個		8 ☆ 各2	(1)	6	
	(2)	奇数個			(2)	23	
	(3)	2個(偶数個)			(ア)	-3	
	(4)	交換法則			(イ)	8	
	(5)	630			(ウ)	6	
4 △ 各2	(1)	分配法則		9 ☆ 各2	(エ)	2	
	(2)	12			(オ)	-2	
	(3)	-2					

10 ☆ 各1	(1)	足し算	○	引き算	△
		かけ算	○	割り算	△
各2	(2)	足し算	○	引き算	○
		かけ算	○	割り算	△
11 ☆ 各2	(1)	家から学校までにかかった時間			
	(2)	家から公園までの道のり			
	(3)	家から学校までの道のり			